

災害時対応常務分類表

災害時の業務継続計画(BCP: Business Continuity Plan)において、入居者50名・総職員数20名の福祉施設(高齢者施設等を想定)職員の出動率に応じた業務内容の分類(A継続業務、B追加業務、C削減業務、D休止業務)業務分類表

災害発生時の業務分類表(BCP対応)

業務分類	業務内容例	業務の目的	出動率別の実施可否	備考
A 継続業務	<ul style="list-style-type: none"> 入居者の食事介助、食事提供 排泄介助、オムツ交換 バイタルチェック(最低限) 感染対策(手洗い、消毒、清掃) 夜間の見守り 	生命・健康の維持に不可欠	出動率30%以上で最低限実施	最優先業務。看護師不在時は介護職で代行も検討。
B 追加業務	<ul style="list-style-type: none"> 感染者の隔離対応 健康観察強化(検温頻度UP) 家族への連絡・報告 職員への感染防止指導 ゾーニング(感染エリア分離) 	感染拡大防止、情報共有強化	出動率50%以上で一部対応可能	必要時は他部署支援や外部協力を要請
C 削減業務	<ul style="list-style-type: none"> レクリエーション活動 入浴支援(頻度削減) 居室清掃(最低限に) 定期巡回(間引き対応) 	生活の質維持に関わるが優先度は中程度	出動率50%以下で削減開始	一時的に簡素化。緊急対応を優先。
D 休止業務	<ul style="list-style-type: none"> イベント(外出・訪問) ボランティア受入 研修・会議 職員評価・記録業務の一部 	業務継続に不要、後回し可能	出動率70%未満で全面休止	業務復旧後に順次再開。延期対応。

出動率ごとの想定運営レベル

出動率	人員(概算)	運営レベル	業務対応範囲
100%(通常)	20名	平常運営	全業務実施可
70%	14名	準通常運営	A・B・C業務実施、一部休止あり
50%	10名	縮小運営	A・B業務を優先、C削減、D休止
30%	6名	最小限運営	A業務のみ実施、Bは最小限対応
20%以下	4名以下	危機的状況	A業務も困難、応援要請必須